

●本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

年度	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	現状の数値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
令和5年度	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	子供たちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育むためには、放課後や週末等の安全・安心な居場所の確保や、地域における様々な体験・交流活動ができる環境づくりを行う必要がある。	—	・地域学校協働活動推進員や学習支援員、協働活動支援員、協働活動サポーター等の育成を行う。	地域において、体験活動の企画や地域と学校との連絡調整等を担う人材やボランティアを育成することで、地域で多様な体験活動ができる環境を創出する。	105人	120	推進員は地域に定着してきており、地域と学校の調整役となり様々な地域学校協働活動(学校支援活動、放課後子供教室等)を実施することができた。県内では人材不足や地域人材の高齢化が課題となっている。地域学校協働活動や推進員について、もっと県民に周知し理解を深める必要がある。
令和6年度	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	子供たちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育むためには、放課後や週末等の安全・安心な居場所の確保や、地域における様々な体験・交流活動ができる環境づくりを行う必要がある。	・放課後子供教室にかかわるスタッフに対する研修会を実施 ・地域学校協働活動推進員等の資質向上とネットワークづくりを目的とした研修会を実施 ・統括コーディネーターと市町を訪問し、地域学校協働本部や推進員の役割について説明	・地域学校協働活動推進員や学習支援員、協働活動支援員、協働活動サポーター等の育成を行う。	地域において、体験活動の企画や地域と学校との連絡調整等を担う人材やボランティアを育成することで、地域で多様な体験活動ができる環境を創出する。	120人		—